

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年8月24日(2017.8.24)

【公表番号】特表2013-509370(P2013-509370A)

【公表日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-013

【出願番号】特願2012-535755(P2012-535755)

【国際特許分類】

C 07 D 263/06 (2006.01)

C 07 D 498/04 (2006.01)

【F I】

C 07 D 263/06 C S P

C 07 D 498/04 1 0 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年7月10日(2017.7.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

[式中、

R^1 は、炭素数2~5のアルキレン基、特にエチレン基であり、

R^2 及び R^3 は、個別にHあるいは任意選択で置換されている炭素数1~10の直鎖若しくは分岐アルキル基又はアリール基であり、

R^4 は、150~4000g/モル、特に160~1000 g/モルの分子量のポリイソシアネートのn個のイソシアネート基の除去の後のn価残基であり、
n=2、3、4、5又は6である]

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

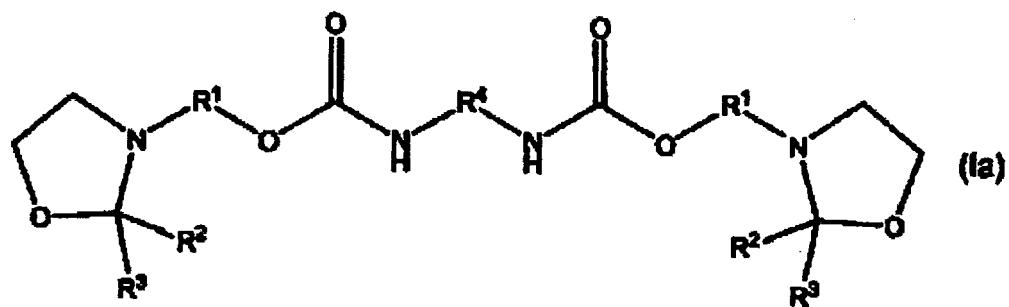
a)少なくとも2つのウレタン基を有する少なくとも1種のポリオキサゾリジンPOU及び

b)少なくとも1つのカルボナート基を有する少なくとも1種のポリオキサゾリジンPOC

を含み、

ポリオキサゾリジンPOUが、以下の式(Ia)による構造を有し：

【化1】

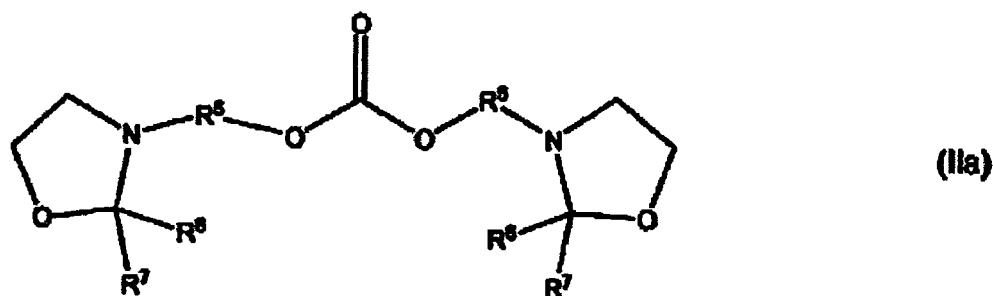


[式中、

R¹は、炭素数2～5のアルキレン基、R²及びR³は、個別にHあるいは任意選択で置換されている炭素数1～10の直鎖若しくは分岐アルキル基又はアリール基であり、R⁴は、150～4000g/molの分子量のポリイソシアネートのn個のイソシアネート基の除去の後のn価残基であり】；

ポリオキサゾリジンPOCが、以下の式(IId)による構造を有し：

【化2】



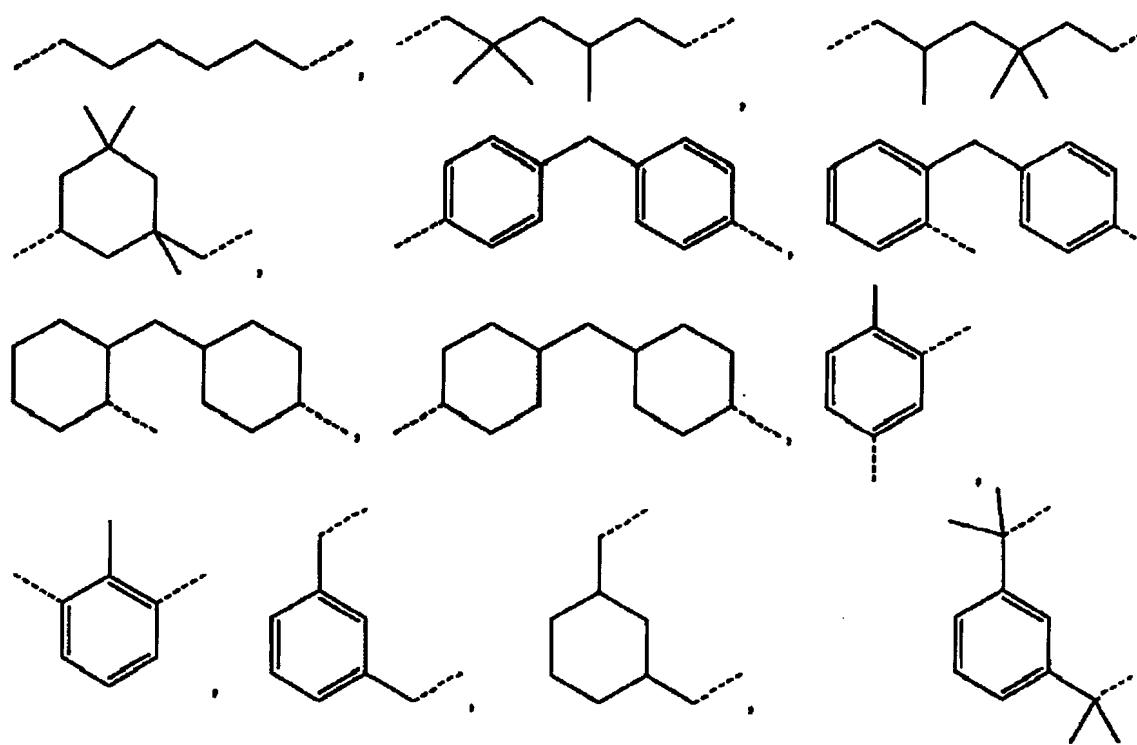
[式中、

R⁵は、炭素数2～5のアルキレン基R⁶及びR⁷は、個別にHあるいは任意選択で置換されている炭素数1～6の直鎖若しくは分岐アルキル基又はアリール基である】；かつすべてのポリオキサゾリジンPOCの合計とすべてのポリオキサゾリジンPOUの合計の重量比が5:95～45:55である、組成物。

【請求項2】

R⁴が、以下のジイソシアネート残基、又はその対応するジイソシアネートのイソシアヌレート若しくはビウレット若しくはウレトジオンのイソシアネート残基からなる群から選択されることを特徴とする、請求項1に記載の組成物：

【化 3】



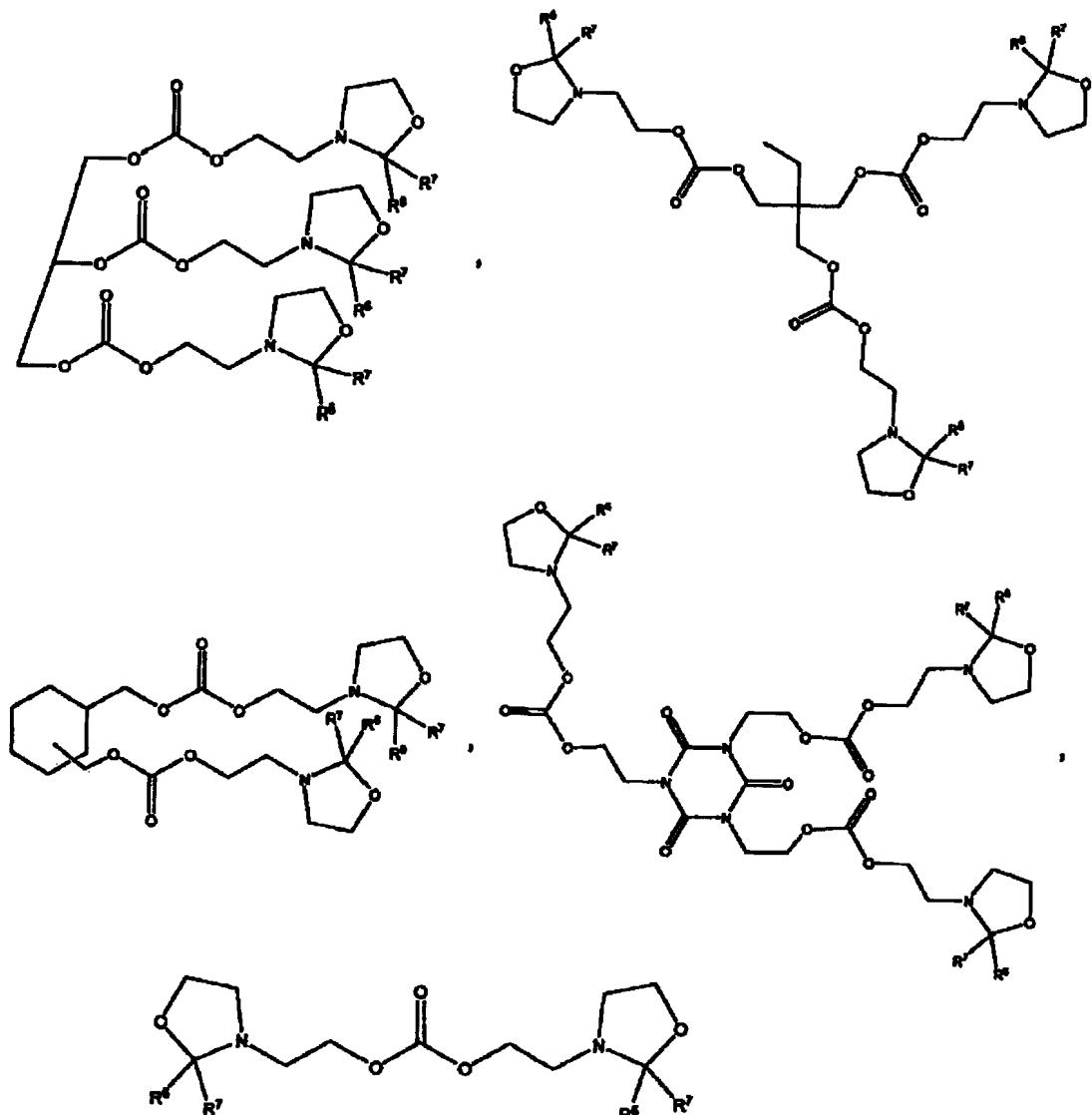
【請求項 3】

R^4 が、次のジイソシアネート残基、又はその対応するジイソシアネートのイソシアヌレート若しくはビウレット若しくはウレトジオンのイソシアネート残基からなる群から選択されることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の組成物： 1 , 6 - ヘキサメチレンジイソシアネート (HDI) 、 1 - イソシアナト - 3 , 3 , 5 - トリメチル - 5 - イソシアナトメチルシクロヘキサン (イソホロンジイソシアネート又は IPDI) 、 2 , 4 - トルエンジイソシアネート、及び 2 , 6 - トルエンジイソシアネート。

【請求項 4】

ポリオキサゾリジン POC が、以下からなる群から選択されることを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組成物：

【化 4】

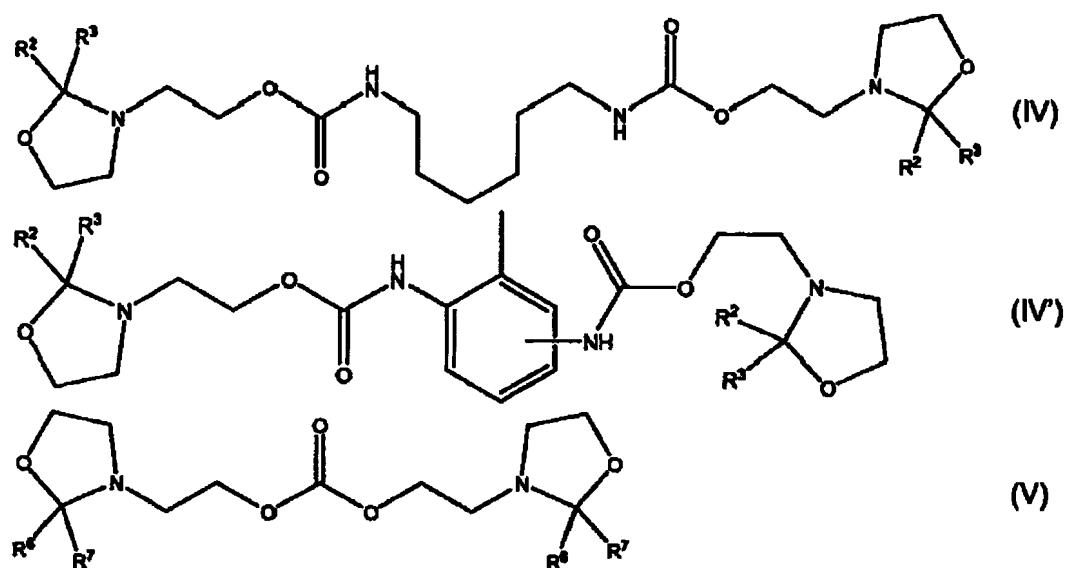


[式中、R⁶ 及び R⁷ は、個別に H あるいは任意選択で置換されている炭素数 1 ~ 10 の直鎖若しくは分岐アルキル基又はアリール基である]。

【請求項 5】

ポリオキサゾリジン P O U が、以下の式 (IV) 又は (IV') のビスオキサゾリジンであり、ポリオキサゾリジン P O C が以下の式 (V) のビスオキサゾリジンであることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物：

【化5】



[式中、R²、R³、R⁶及びR⁷は、互いに独立にH又は炭素数1～10の直鎖若しくは分岐アルキル基である]。

【請求項6】

R²及びR⁶がHであることを特徴とする、請求項1～5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

少なくとも1種の二環式オキサゾリジンBCOをさらに含むことを特徴とする、請求項1～6からのいずれか一項に記載の組成物。

【請求項8】

二環式オキサゾリジンBCOが、以下の式(VI)による構造を有することを特徴とする、請求項7に記載の組成物：

【化6】



[式中、R⁹、R¹⁰、R¹¹及びR¹²は、個別に、直鎖若しくは分岐アルキル基、又は直鎖若しくは分岐ヒドロキシアルキル基、又はアリール基若しくはシクロアルキル基であり、

R¹³は、H又は直鎖若しくは分岐アルキル基、又は直鎖若しくは分岐ヒドロキシアルキル基であり、

R¹⁴、R¹⁵、R¹⁶及びR¹⁷は、個別に、H又は直鎖若しくは分岐アルキル基、又

は直鎖若しくは分岐ヒドロキシアルキル基である】。

【請求項 9】

すべてのポリオキサゾリジン POC 及び任意選択で存在するすべての二環式オキサゾリジン BCO 並びにすべてのポリオキサゾリジン POU の合計の量が、総組成物の重量に関して 80 ~ 100 重量% であることを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

ポリイソシアネートをさらに含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

すべてのポリオキサゾリジン POC 及び二環式オキサゾリジン BCO 並びにすべてのポリオキサゾリジン POU の合計の量が、総組成物の重量に関して 5 ~ 20 重量% であることを特徴とする、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

すべてのポリオキサゾリジン POC の合計とすべてのポリオキサゾリジン POU の合計の重量比が 25 : 75 ~ 35 : 65 であることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】

ポリイソシアネート用の非結晶性硬化剤としての、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の組成物の使用。